

三重県立美術館企画展「知っておきたい 三重県の江戸絵画」関連イベント

展覧会がもっと面白くなる アート&ブックガイド

日時：10月31日（木）18:30～20:00（開場 18:00～）

会場：三重県立図書館1階閲覧室

（津市一身田上津部田1234 三重県総合文化センター内）

開催当日、図書館は休館日です。

ひととき強烈な個性を放つ奇想の絵師・曾我蕭白（1730-1781）、貧民救済のために絵筆をとった画僧・月僊（1741-1809）、芸術と友情をこよなく重んじたお殿様・増山雪斎（1754-1819）。絵を描く立場も画風も三者三様。共通するのは、三重県の地で絵画を制作したこと、そして強い信念。彼らは世間から常識外れといわれようとも、独自の道を突き進みました。三重県立美術館は、彼らの個性的な作風と経歴を評価し、開館以来、調査研究と作品収集に取り組んでまいりました。

三重県立美術館で開催される企画展「知っておきたい 三重県の江戸絵画」にちなんで、蕭白、月僊、雪斎と三重県の関係性をふまえつつ、彼らの作品の魅力について美術館学芸員がお話します。

また、図書館司書によるおすすめ本の紹介、貸出を行います。読書好きのための特別なナイト・イベントです。ぜひご参加ください。



増山雪斎筆《猫図》

1814年 個人蔵

講師：村上敬（三重県立美術館学芸員） 参加費：無料

主催：三重県立図書館 三重県立美術館 定員：30名様（事前申込制・抽選）

お申込み ＊申込締切：10月18日（金）

三重県立図書館ウェブページまたはこちらの二次元コードからお申込みください。

＊定員を超える応募があった場合は抽選となります。

＊いただいた個人情報は、今回の目的以外には使用いたしません。

問い合わせ先：三重県立図書館 電話 059-233-1181



申込用二次元コード

三重県立美術館

企画展「知っておきたい 三重県の江戸絵画」

2024年10月12日（土）～12月1日（日）

本展は、三重県立美術館が収蔵する蕭白、月僊の作品に、個人所蔵家のご協力を得、増山雪斎の作品を加え、江戸時代の三重県を代表する画家3名をご紹介します。